

平成31年度当初予算
部局別要求方針

議会事務局

部局別予算要求方針

部の現状、課題、予算要求方針等を記入して下さい。

1 31年度予算要求にあたっての基本的な考え方(予算編成方針を踏まえて)

地方創生の時代を迎え、より政策的な行政運営と拡大する市民ニーズへの対応が求められる中、議会の役割である行政のチェック機能の充実や政策立案能力の強化がこれまで以上に重要となってきています。

本市議会においても、「議会基本条例」の規定に基づき、円滑な議会運営と活性化に引き続き取り組むとともに、「市民にわかりやすい議会」をさらに推進するべく、議会情報の発信に積極的に努めます。

また、議員及び議会事務局職員の能力や資質の向上を目指すための体制整備が必要です。

2 予算要求の重点事項(新年度の取組目標、新規施策等)

※部局内での事業の優先順位及び必要性を明記すること。

(優先すべき事業)

■円滑な議会運営

- ・いつでもどこでも必要な情報を閲覧するとともに、議員の政務活動を行うことができるペーパーレス会議システム等の体制整備
- ・議会運営に伴うアドバイザーの確保

■積極的な情報公開

- ・本会議のライブ及び録画中継並びに委員会のライブ中継、本会議及び委員会会議録のインターネット公開
- ・意見交換会の開催
- ・ながはま市議会だよりの発行及び充実
- ・ホームページを活用した議会情報の提供

■調査、政策立案能力の向上

- ・議会活性化の推進、議員研修会の充実、議会図書室の充実
- ・ペーパーレス会議システムの導入による議員の調査・政務活動の充実

(事業の必要性)

- ・市民の議会への理解と市政への参加をより一層促進する必要がある。
- ・市の重要課題や政策等に関し、活発な討論や提案を行う必要がある。
- ・議員の政務活動の充実を図り、活発な議会を目指す必要がある。
- ・議員及び事務局職員の能力・資質の向上を図る必要がある。

3 事務事業の再構築(事務事業の検証・見直し、選択と集中の結果)

円滑な議会運営を第一に、議会活性化を推進しつつ、事務事業の更なる見直しと効率化をすすめます。事務的経費については、できる限りの削減に努めています。